

## 児童発達支援センター仔鹿園自己評価に係る外部評価会議録

日時 令和8年5月11日(月)

午前11:00~12:00

場所 児童発達支援センター仔鹿園

### 1. 外部評価出席者

- 社会福祉法人こぶしの会 古木一夫さん
- 社会福祉法人ならやま会 北畑歩子さん(欠席)
- 児童発達支援センター仔鹿園 園長 田中一嘉
- 児童発達支援センター仔鹿園 主任 雄谷恵美
- 児童発達支援センター仔鹿園 副主任 貝田智子

### 2. 児童発達支援センター仔鹿園の自己評価及び自己評価総括についての説明(園長:田中)

### 3. 外部評価(古木さんより)

- ・施設の取り組みとしては、奈良県の中でも、パイオニア的支援をされていると評価します。自己評価について、現場職員の声や意見が反映されていることが大切であると思います。また非常勤職員と、支援観や方針の統一は重要課題であると考えます。
- ・虐待防止、保護者支援の在り方について、どのように取り組みをされているか知りたいです。
  - 田中園長:母子通園や父子通園、家族通園を設定して、保護者の方に園に来て頂く機会を多く設けています。また、虐待防止委員会を設置し、園独自のQ&Aを取り入れたマニュアル作成しています。標語を入れたポスターを作成し、啓発を促しています。
  - 古木氏より:様々な状況を考えて、Q&Aのマニュアルを作成されているのは、評価します。
- ・送迎バスでの取り組みは何かあるのか教えて欲しいです。
  - 田中園長:バスの中に緊急対応児のマニュアルがある。取り残し防止の取り組みとしては、安全装置を設置し、職員・運転手・安全装置のトリプルチェックができるような仕組みにしています。
- ・きょうだい児支援やサポートはされていますか？
  - 田中園長:きょうだい児に特化しては、まだできていません。運動会などにきょうだい児の参加を促したり、個別の相談の場で、話を聞かせてもらったりしています。
- ・子どもの意思決定支援について、どうされていますか。子ども本人の意思を支援計画へ反映するかが大切だと思います。
  - 田中園長:計画を立てる時に同席、本人の意見と保護者の方のニーズを聞くときに、思いを汲み取るようにしています。アセスメントは本人の姿を必ず確認して作成しています。
- ・地域交流についてはどのような取り組みをされていますか。
  - 田中園長:以前は地域のお祭り等に参加していましたが、地域の活動自体の減少や、コロナ禍以降、あまり地域の行事に参加できていない為、今後の課題です。
- ・外部評価について、同業者の意見だけでなく、異なる視点を持った参加者も有効ではないでしょうか。
  - 園長先生:今後の委員選定の参考として検討します。